

2026年4月20-26日

49番の歌 日々エホバに喜んでいただく

## バプテスマに向けて動き出しましょう

「今こそ特に受け入れられる時です」。コリント第二 6:2

ポイント：エホバとの友情を育て、バプテスマを受ける絶好のタイミングは今です。

1. (ア) バプテスマを受けるとよいのはどうしてですか。 (イ) この記事ではどんなことを考えますか。

あなたはエホバに献身してバプテスマを受けましたか。もしそうなら、晴れやかな良心でエホバに仕えられるようになりました。(ペテロ 3:21 これに相当するものであるバプテスマ(\*) (肉体の汚れを除くことではなく、健全な(\*晴れ晴れとした/正しく機能する)良心を神に願い求めること)により、今皆さんはイエス・キリストの復活を通して救われています。) 本当に素晴らしい決定をしました。会衆の若い人や聖書レッスン生にとって、良いお手本です。まだバプテスマを受けていない人も、きっとエホバを愛し、エホバの望むことを行いたいと思っていますことでしょう。罪を許してもらい、エホバに喜ばれるためにはバプテスマが必要だ、ということも分かっているはずです。(使徒 2:38-40 ペテロは言った。「悔い改めなさい。そして一人一人、罪の許しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、無償の贈り物である聖なる力を受けます。39 この約束はあなた方とあなた方の子供たち、また遠くにいる全ての人、エホバ神が招く全ての人に対するものです。40 ペテロはさらに多くを語って徹底的に教え、「この曲がった世代から救われなさい」と勧め続けた。) でも、何かの理由でバプテスマを受ける決心がつかないでいます。この記事がきっと役に立ちます。次の3つのことを考えます。(1) バプテスマをためらってしまうのはどうしてか。(2) 終わりが近いことを意識するとよいのはどうしてか。(3) 今バプテスマに向けて努力することが大切なのはどうしてか。

### バプテスマをためらうのはどうしてか

2. どんな理由でバプテスマをためらう人がいますか。

2 不安を感じてバプテスマをためらう人がいます。エホバに仕えたいと思ってはいても、エホバに喜ばれるようなレベルにはいけない、と思うかもしれません。でも、エホバは完璧を期待したりはしません。ベストを尽くす時、喜んでくれます。そういうエホバの思いが伝わってくる聖句を読んでよく考えましょう。(詩 103:13, 14 父が子を憐れむように、エホバはご自分を畏れる人たちを憐れんだ。14 神は私たちの造りをよく知っている。私たちが土でできているにすぎないことを覚えている。コロ 3:23 何をしていても、人のためではなくエホバのためにするように、自分の全てを尽くして行いましょう。) また、家族や友達から反対されるのではないかと不安に感じ

るかもしれません。そんな時は、次のような気持ちになれるようエホバにお願いしましょう。「エホバは私の側にいてくださる。私は恐れぬ。人が私に何を行えるだろう」。(←詩 118:6)

3. どんなふうに思ってバプテスマをためらう場合がありますか。(挿絵も参照。)

3 エホバのことを愛してはいても、まだ知識が足りないと思う人もいます。バプテスマを受けるためにはどの程度の知識が必要なのでしょうか。聖書に出てくる出来事を考えてみましょう。パウロとシラスが牢屋に入れられた時のことです。大きな地震の後、2人は牢番と家の人たちに神とイエスについて話します。みんなは、その地震は神が起こした奇跡だということを理解したでしょう。その夜、パウロとシラスから大切なことをいろいろ教えてもらったはずですが、ためらわず「すぐにバプテスマを受け」ました。(使徒 16:25-33) しかし、真夜中ごろ、パウロとシラスは祈ったり歌で神を賛美したりして、囚人たちはそれを聞いていた。26 突然、大きな地震が起きて、牢屋が土台から揺れた。その上、全ての戸が直ちに開き、皆の鎖やかさが外れた。27 牢番は目を覚まして牢屋の戸が開いているのを見ると、囚人たちが逃げってしまったものと思い、剣を抜いて自殺しようとした。28 しかしパウロは大声で、「やめなさい。皆ここにいます！」と叫んだ。29 牢番は明かりを持ってこさせてから、中に駆け込み、震えながらパウロとシラスの前にひれ伏した。30 そして、2人を外に連れ出し、こう言った。「先生方、救われるには何をしなければなりませんか」。31 2人は言った。「主イエスを信じなさい。そうすれば救われます。あなたも、あなたの家の人たちも」。32 その後、牢番とその家の全ての人にエホバの言葉を語った。33 牢番は、その夜に2人を連れて行って傷の手当てをした。そして、家の人全員と共にすぐにバプテスマを受けた。) あなたはエホバを知り、心から愛していますか。聖書の基本的な教えを理解し、罪を悔い改め、エホバに喜ばれる生き方をしたいと思っていますか。そうであれば、もうバプテスマを受けられるところまで来ています。(マル 12:30) あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならない)



パウロとシラスが真理を伝えると、牢番と家の人たちは「すぐにバプテスマを受けた」。(3節を参照)

4. どんな理由でバプテスマをためらう人がいますか。(写真も参照。)

4 エホバに喜んでもらいたいと思っはいても、バプテスマを受けると失うものが大きい、と感じる人もいます。もちろん、何かを決める時に自分にどれだけのものが求められるかを考えるのは良いことです。(ルカ 14:27-30) 自分の苦しみの杭を運びながら私に付いてくる人でなければ、私の弟子になることはできません。28 例えば、塔を建てようと思う場合、まず座って費用を計算

し、完成させるだけのものを持っているかどうかを確かめるのではないのでしょうか。29 そうしないなら、土台を据えても仕上げられないかもしれず、見ている人たちは皆あざけり始めるでしょう。30 『この人は建て始めたが仕上げられなかった』と言うのです。)でも、神に仕えるために犠牲にするものについて考え過ぎてしまう人がいます。キャンディスがそうでした。キャンディスは子供の時から身近にエホバの証人がいました。大人になってから聖書レッスンを勧められた時の気持ちを振り返り、こう言っています。「頭では、エホバのために何をしないといけないかは分かっていました。でも、自分なりの生活を楽しんでいて、そういうものを手放したくありませんでした」。バプテスマを受けてからも聖書の高い基準に合わせて生きていけるか、心配に思う人もいます。大きな罪を犯して会衆から除かれたらどうしよう、とってしまう。こういういろんな理由で一步踏み出せないなら、どうしたらいいのでしょうか。



エホバに喜んでもらいたいと思っただけでも、バプテスマを受けると失うものが大きい、と感じる人がいる。(4節を参照)

5. バプテスマを受けるかどうか迷っているなら、どんなことに目を向けるといいですか。(マタイ 13:44-46)

5 何かを買う時には、値段だけでなく、その商品にどれくらいの価値があるかを考えます。たとえ値段が高くても、値段以上の価値がある物なら、ためらわずに買うことでしょう。バプテスマについて考える時も同じです。どれほどのものを手放さないといけないかだけでなく、エホバとの絆にどれほどの価値があるかに目を向けるのは大切です。イエスはそのことを教える2つの例えを話しました。(マタイ 13:44-46 天の王国は野原に隠された宝のようです。ある人がそれを見つけて再び隠しました。そして、喜びのあまり、行って持ち物を全て売り、その野原を買います。45 また、天の王国は立派な真珠を探し求める旅商人のようです。46 高価な真珠1つを見つけると、行って持ち物全てを即座に売り、その真珠を買いました。を読む。) どちらの例えに出てくる人も、とても価値ある物を見つけると、それを買うために持ち物全てを売りました。あなたも良い知らせという素晴らしい宝を見つけました。バプテスマを受けるかどうか迷っているなら、この2つの例えについて考えてみてください。自分にこう問い掛けてみましょう。「①良い知らせがかけがえのないものだと本当に思っているだろうか。②エホバとの絆、③いつまでも生きられるという希望、④家族のような仲間のことをどれほど大切に思っているだろうか」。このように自分を見つめるなら、バプテスマに向けて何に取り組むべきかが見えてきます。もしかしたら、良い知らせに対する感謝をもっと深めないといけない、と気付くかもしれません。

6. どうすれば柔らかい心を持てますか。

6 イエスは種をまく人の例えの中で、**心の状態**の大切さを教えました。**心の状態が良くないと**、**良い知らせを聞いても成長できません**。逆に「**非常に良い心**」で**聞く人**は、**王国の良い知らせを受け入れ**、**行動**します。(ルカ 8:5-15「人が種をまきに出掛けました。まいてみると、幾らかは道端に落ちて踏みつけられ、鳥が食べてしまいました。6 幾らかは岩の上に落ち、芽生えた後、水気がないので干からびてしまいました。7 幾らかはいばらの間に落ち、一緒に成長するいばらにふさがれてしまいました。8 しかし、幾らかは**良い土に落ち**、芽生えた後、**100 倍の実を生み出しました**」。イエスはそう述べた後、大声で言った。「聞く耳のある人は聞きなさい」。9 弟子たちは、この例えがどういう意味かを尋ねた。10 イエスは言った。「あなたたちは、神の王国の神聖な秘密を理解することを許されていますが、他の人たちには例えのままです。それで、その人たちは見えても無駄に見、聞いていても意味を悟りません。11 さて、例えの意味はこうです。**種は神の言葉**です。12 **道端のものとは聞いた人のこと**ですが、その後、信じて救われることがないよう、**悪魔がやって来て**、その心から**神の言葉を取り去ります**。13 **岩の上のものとは**、神の言葉を聞くと喜んで受け入れる人のことですが、**根がありません**。しばらくは信じますが、**試練の時期に離れ去って**しまいます。14 **いばらの間に落ちたもの**、これは神の言葉を聞いた人ですが、**生活上の心配事や富や快樂によって気を散らされて**、成長がすっかり止まり、何も実らせることができません。15 **良い土の上のもの**、これは**非常に良い心で神の言葉を聞いた後**、それを**しっかり保ち**、**耐え忍んで実を結ぶ人**です。) **自分**は**そんなに素直な心を持っていない**、と感じるかもしれません。でも、**がっかりしないで**ください。**エホバに助けをもらえば**、「**新たな心**」、**エホバに喜んで従いたいと思う心**を持つことができます。**良い知らせという種が成長しやすい柔らかい心**を持てるよう、**エホバに祈って**ください。(エゼ 18:31 犯した全ての違反を捨て去り、**新たな心と新たな精神を持つようになりなさい**(d\*自分たちのためにつくりなさい)。イスラエル国民よ、あなたたちが死ぬようなことがあってよいだろうか』。:36:26 **あなたたちに新たな心を与え**、**新たな精神(c\*へ語ルーアハ)を持たせる**。あなたたちの体から石のような心を取り除き、**柔らかい心(c\*神の導きに敏感に感じる心のこと)を与える**。)

7-8. 若い人がバプテスマをためらうどんな理由がありますか。 (写真も参照。)

7 **若い人の中には**、**エホバを愛してはいても****周りの影響**を受けてバプテスマを**ためらってしまう**人がいます。例えば、**性に関してはオープンな見方**を持つように、と勧める先生がいるかもしれません。そういう意見は**エホバの基準に反して**いて、**耳を貸すとつらい目に遭います**。(詩 1:1, 2 **何と幸せなのだろう。悪人の意見に従って歩まず**、**罪人の道に立たず**、**あざける人と共に座らない人は**。2 **その人はエホバの律法を喜び**、**昼も夜も小声で読む(\*思い巡らす)**。格 7:1-5 **わが子よ**、**私の言葉を守り**、**私のおきてを大切にせよ(\*蓄えよ)**。2 **私のおきてを守って**、**生きよ**。私の**教え(\*律法)をあなたの目の瞳のように守れ**。3 **それを指に結び**、**心に書き記せ**。4 知恵に「**あなたは私の姉妹だ**」と言い、**理解を「私の親族」と呼べ**。5 **それらが**、**いかがわしい(d\*よその)女性から**、**不道徳な(d\*外国の)女性と彼女の甘い(\*誘惑の)言葉から**、**あなたを守るためである**。) そうならないために、詩編を書いた人と同じようにしましょう。こう言っています。「**私には洞察力がある**。私を教えてくれた**どんな人よりも**。**あなたの教えをじっくり考えているから**」。(詩 119:99 **私には洞察力がある**。私を教えてくれた**どんな人よりも**。**あなたの教えをじっくり考えて(\*を学んで)いるから**。)

8 エホバの証人の親が、子供がバプテスマを目指せるよう十分サポートできていないという場合もあります。子供の教育や将来の仕事のことを気にし過ぎているのかもしれませんが。エホバと親しくなるための目標を持つよう勧めていないこともあります。若い皆さん、バプテスマを受けたいのに、親があまり応援してくれていないと感じますか。もしそう感じているなら、親に気持ちを話してみてください。エホバと友達になるのに年齢は関係ありません。(格 20:11 子供でさえ、日々の行動によって、振る舞いが清く正しいかどうかを知られる。)



バプテスマについて親と話してみてください。(8節を参照)

9. バプテスマを遅らせてしまうどんな理由がありますか。

9 若い人の中には、友達や家族と同じ日にバプテスマを受けたいと思って、バプテスマを先延ばしにする人もいます。もちろん、バプテスマのタイミングが親しい人と同じになることもあるでしょう。でも、それを期待してバプテスマを遅らせていいのでしょうか。献身は、あなたがエホバにする約束です。ほかの人がいつバプテスマを受けるかを気にして、バプテスマを思いとどまらないでください(ロマ 14:12 私たち一人一人は、神に責任を問われることになるのです)

## 終わりが近いことを意識する

10. どんなふうに考えてバプテスマを先送りにする人がいますか。

10 まだまだ終わりが来ないと思って、バプテスマを先送りにする人もいます。でも、そんなふうに考えて大丈夫でしょうか。イエスは弟子たちにこう警告しました。「用意をしていなさい。思ってもいない時刻に人の子は来るからです」。(ルカ 12:40 あなたたちも用意をしていなさい。思ってもいない時刻に人の子は来るからです。)

11. エホバの愛情深さが分かると、どうしたいと思うようになりますか。(詩編 119:60)

11 私たちが献身してバプテスマを受けるのは、エホバを愛しているからです。エホバがどれほど愛情深いかが分かると、エホバの求めていることが自分のためになるということも分かってきます。そして、できるだけ早くその通りにしたいと思うようになります。(詩編 119:60 私は急ぎ、遅らせない。あなたのおきてを守ることを。を読む。)先延ばしにしないことが大切なのはどうしてでしょうか。ヤコブは、明日がどうなるかは誰にも分からないと言っています。もしかすると、「正しいことを.....行う」チャンスは今日が最後かもしれません。それで、エホバがしてほしいと思っていることを今するようにしましょう。(ヤコ 4:13-17 今日か明日、あの都市に行つて

そこで1年過ごし、商売をしてもうけよう」と言う人たち、<sup>14</sup> 皆さんは自分の命が明日どうなるかも知りません。皆さんは少しの間だけ現れて消える霧だからです。<sup>15</sup> それで代わりに、「もしエホバ(\*)が望まれるなら、私たちは生きていて、あれやこれができるだろう」と言うべきです。<sup>16</sup> しかし今、皆さんは思い上がって偉そうに誇っています。そのように誇るのは全て悪いことです。<sup>17</sup> 正しいことをどのように行うかを知っているのに行わないなら、それは罪なのです。)

12. ブドウ園の例えから何が学べますか。

<sup>12</sup> イエスが話したブドウ園の例えを考えて、今バプテスマを受けても後で受けても、そんなに変わりはないと思う人もいるかもしれません。確かに、ブドウ園で1時間しか働かなかった人たちも、一日中働いた人たちと同じ賃金を受け取りました。でも1時間だけ働いた人たちは、楽をしたかったわけではありません。「誰も雇ってくれなかった」と言っています。それで声を掛けてもらえるとすぐに、働き始めました。(マタ 20:1-16 というのは、天の王国は、ある家の主人のようだからです。主人は、ブドウ園の労働者を雇うために朝早く出掛けました。<sup>2</sup> 労働者たちと1日1デナリで合意し、ブドウ園に行かせました。<sup>3</sup> 午前9時ごろにも出掛けると、仕事がなく、広場に立っている人たちがいました。<sup>4</sup> そこで、『あなたたちもブドウ園に行きなさい。相応の賃金を払います』と言いました。<sup>5</sup> それでその人たちは行きました。主人は昼の12時ごろと午後3時ごろにも出掛けて、同じようにしました。<sup>6</sup> 最後に、午後5時ごろに出掛けて、ほかにも立っている人たちを見つけ、言いました。『なぜ仕事をしないで一日中ここに立っていたのですか』。<sup>7</sup> その人たちは言いました。『誰も雇ってくれなかったからです』。主人は言いました。『あなたたちもブドウ園に行きなさい』。<sup>8</sup> 夕方になって、ブドウ園の主人は責任者に言いました。『労働者たちを呼んで、賃金を払いなさい。最後の人から順に最初の人までです』。<sup>9</sup> 午後5時の人たちが来て、それぞれ1デナリを受け取りました。<sup>10</sup> それで、最初の人たちは来た時、もっと受け取れると考えましたが、やはり1デナリずつでした。<sup>11</sup> それを受け取ると、家の主人に文句を言い始め、<sup>12</sup> 『この最後の人たちは1時間働いただけです。それなのに、焼け付く暑さの中で一日中働いた私たちと同じ扱いなのですか!』と言いました。<sup>13</sup> しかし主人はその1人に言いました。『あなたに不当なことは何もしていません。1デナリで合意したではありませんか。<sup>14</sup> 自分の分を受け取って、行きなさい。この最後の人にもあなたと同じように与えたいのです。<sup>15</sup> 私は自分の物で望むことをしてもいいのではありませんか。それとも、私が惜しみなく与える(\* 善い)ので、あなたはねたむのですか』。<sup>16</sup> このように、最後の人たちが最初に、最初の人たちが最後になります。)今イエスは私たちに、弟子になって、良い知らせを伝える仕事を一緒にするよう呼び掛けています。イエスがそんなふうに声を掛けてくれているので、できるだけ早く応じたいものです。

13. ロトの妻からどんなことが学べますか。

<sup>13</sup> バプテスマを先延ばしにして、ぎりぎりで変わればいいと思う人もいます。でも、そううまくいくでしょうか。イエスは弟子たちに、「ロトの妻のことを思い出さない」と言いました。(ルカ 17:31-35 その日、屋上にいる人は、家の中に持ち物があっても取りに下りてはならず、畑に出ている人も、物を取りに帰ってはなりません。<sup>32</sup> ロトの妻のことを思い出さない。<sup>33</sup> 自分の

命を安全に守ろうとする人はそれを失いますが、自分の命を失う人はそれを救います。 34 あなたたちに言いますが、その夜、2人が1つの寝床にいて、一方は連れていかれ、他方は捨てられます。 35 2人の女性が同じひき臼を回していて、一方は連れていかれ、他方は捨てられます。 )  
ロトの妻はソドムとゴモラがもうすぐ滅ぼされることをよく分かっていましたが、捨てた物への未練を断ち切れませんでした。 (創 19:23-26 日が昇った頃、ロトはゾアルに着いた。 24 そこでエホバはソドムとゴモラに硫黄と火を降らせた。エホバのもとから、天から硫黄と火が降ったのである。 25 こうしてその町々を滅ぼした。その地域全体を、住民も植物も皆、滅ぼした。 26 一方、ロトの後ろにいた妻は振り返ったため、塩の柱になった。 ) 救いにつながる扉はいつまでも開いているわけではありません。エホバが決めた時に閉じられ、もう開かれることはありません。 (ルカ 13:24, 25 「狭い戸口を通して入るため、精力的に励みなさい。あなた方に言いますが、入ろうとしても入れない人が多いからです。 25 家の主人が立ち上がって戸に鍵を掛けると、あなた方は外に立って戸をたたき、『主よ、開けてください』と言います。しかし主人はこう答えます。『あなた方がどこの人か知りません』。 )

14. 終わりの時代についての預言が実現しているのを見ると、どんなことを考えさせられますか。

14 終わりの時代についての預言が実現しているのを、私たちは毎日のように目にしています。たとえ身近でそういうことが起きていなくても、世界の様子を見ると、バプテスマをためらっている時間はもうないように思えます。1世紀にペテロは仲間のクリスチャンに、「全てのものの終わりが近づいてい」るので「目を覚まして」いるように、と言いました。(ペテロ 4:7 全てのものの終わりが近づいています。ですから、健全な考え方をしましょう。また、祈ることを常に意識して(\*祈りのために目を覚まして)いましょう、脚注) 「終わり」とは、ユダヤ人の体制の終わりのことだったようです。ペテロの手紙を受け取った人たちはエルサレムから遠く離れた所に住んでいました。それでエルサレムが滅びた時も、直接影響を受けることはありませんでした。(ペテロ 1:1 イエス・キリストの使徒ペテロから、ポントス、ガラテア、カパドキア、アジア、ビチニアに散っている、一時的居住者である選ばれた人たちへ。) でも、預言通りにエルサレムが滅びた時、エホバのほかの約束も必ずその通りになると思っただけです。現代でも、預言が実現していて終わりが本当に近いことがわかります。それで、気を引き締めてバプテスマを目指すことは大切です。

15. エホバの日に対してどういう心構えを持つべきですか。(ペテロ第二 3:10-13)

15 ペテロは第二の手紙の中で、エホバの裁きの日に対してどういう心構えを持つべきかを書いてあります。1世紀のクリスチャンにとってそれは遠い将来のことでした。でもペテロはその日について「いつも考え」、「切望」しましょう、と勧めました。(ペテロ第二 3:10-13) しかし、エホバ(\*)の日は泥棒のように来ます。その時、天はごう音を立てて消え去り、さまざまな要素は極度に熱くなって溶解し、地とそこでの活動はすっかり暴かれます。11 これらのものは全てこのように溶解するのですから、自分がどんな人になるべきかを考えてください。聖なる振る舞いをし、神への専心を行動に表し、12 エホバ(\*)の日が来るのを(d\*日の臨在を)待ち望み、それについていつも考え(\*それを切望し/d 早め)ましょう。その日に天は燃えて滅び、さまざまな要素は極度の熱で

溶けます。13 しかし、私たちが神の約束によって待ち望んでいる、新しい天と新しい地があります。そこには正しいことが行き渡ります。を読む。脚注) 私たちもその日が来ることをいつも考え、いつ来てもいいように心構えをしておきましょう。そのためには「聖なる振る舞いをし、神への専心を行動に表」すことが大切です。エホバのために生きることを決意し、バプテスマを受けるなら、「神への専心を行動に表」すことになります。そうするあなたの姿を見てエホバは胸を熱くします。

## 絶好のタイミングは今

16. バプテスマを先送りにしないことは大切です。どんな例からそれが分かりますか。(コリント第二 6:1, 2) (挿絵と写真も参照。)

16 バプテスマに向けて動き出すなら今です。(コリント第二 6:1, 2) さらに、神と共に働く私たちは皆さんに勧めます。神の惜しみない親切を受けながら、それを無駄にすることがないようにしてください。2 神は、「私は受け入れられる時にあなたの言うことに耳を傾け、救いの日にあなたを助けた」と言っています。今こそ特に受け入れられる時です。今こそ救いの日です。を読む) フィリポが出会ったエチオピアの宦官はとても良いお手本です。この人はすぐに行動する大切さを分かっていた。良い知らせを聞いて、バプテスマを受けるのに絶好のタイミングが来た時、こうは考えませんでした。「もっと学んでからの方がいいだろう。この先にも池はあるだろうからそこで受ければいい」。むしろこう言いました。「私がバプテスマを受けられない理由が何かあるでしょうか」。(使徒 8:26, 27) ところで、エホバの天使がフィリポに言った。「さあ、南へ、エルサレムからガザへ下る道を行きなさい」。(これは砂漠の道である。) 27 そこでフィリポが出掛けていくと、エチオピアの宦官がいた。エチオピアの女王カンダケの高官で、その財宝全てを管理する人だった。この人は崇拜のためにエルサレムに行ってきた。35-39 フィリポは話し始め、この聖句を手始めに、イエスについての良い知らせを告げた。36 道を進んでいくと、水がある所に来た。すると高官は言った。「見てください、水があります。私がバプテスマを受けられない理由が何かあるでしょうか」。37-38 高官は兵車を止めさせた。フィリポは高官と水の中に下りていき、バプテスマを施した。39 2人が水から上がってくると、フィリポはエホバの聖なる力によってすぐに連れ去られた。高官はもう彼の姿を見なかったが、喜びながら進んでいった。) タイミングを逃さずにバプテスマを受けた宦官は、「喜びながら進んでい」きました。



エチオピアの宦官から大切なことを学べる。バプテスマに向けて動き出す絶好のタイミングは今。(16節を参照)

\*写真や挿絵: エチオピアの宦官がフィリポにバプテスマを受けたと言っている。聖書レッスン生が長老たちにバプテスマを受けたいと言っている。

17. どんなことを思い出すといいですか。

17 バプテスマをためらっているなら、思い出してください。エホバはあなたと友達になりたいと  
思っていて、手を差し出してくれています。(ロマ 2:4 それともあなたは、神がご親切にも悔い  
改めに導こうとしてくださっていることを知らず、神の豊かな親切と寛容と辛抱を軽く見ている  
のですか。) 不安を感じたり周りからマイナスの影響を受けたりしても、エホバがいれば必ず乗  
り越えられます。バプテスマを受けて晴れやかな良心を持てると、「後ろのもの」には魅力を感じ  
なくなります。(フィリ 3:8 それどころか、主であるキリスト・イエスについての知識に極めて  
大きな価値があるので、ほかの何もかもを損だと思っています。私はキリストのためにあらゆる  
ものを失いましたが、そうしたものを多くのくずのようだと思っています。キリストを得て、13  
兄弟たち、私は賞を得たとは思っていませんが、1つのことは確かです。私は後ろのものを忘れ  
、前のものに向かって身を伸ばし、)そして「前のもの」に向かって進んでいけます。献身しバ  
プテスマを受ける人たちにエホバが約束している明るい未来に向かってです。(使徒 3:19 ですか  
ら、罪を消し去っていただくために、悔い改めて生き方を変えなさい。そうすれば、爽やかにす  
る時期がエホバから来て、)

## 何を学びましたか

1. バプテスマをためらってしまうのはどうしてですか。

- ・ S02 エホバに喜ばれるようなレベルにはいけないと不安を感じる／恐れずエホバに助けていた  
だけ
- ・ S03 エホバのことを愛してはいても、まだ知識が足りないと思う／(パウロとシラスから援助  
を受けた牢番とその家族の例)
- ・ S04-05 エホバに喜んでもらいたいと思っはいても、バプテスマを受けると失うものが大き  
いと感じる／エホバとの絆にはそれに勝る大きな価値がある
- ・ S06 自分の心の状態に問題があると思う／エホバに祈り、助けてもらえる

2. バプテスマを先延ばしにするべきではないのはどうしてですか。

- ・ S14 終わりの時代についての預言が実現しており、バプテスマをためらっている時間はない

3. バプテスマに向けて動き出す一番いいタイミングはいつですか。

- ・ S16 フィリポが出会ったエチオピアの宦官が良い手本を示したように、バプテスマに向けて動  
き出すなら今

## 38 番の歌 神はあなたを強い人にしてくださる

△ 写真や挿絵: エチオピアの宦官がフィリポにバプテスマを受けたいと言っている。聖書レッスン生が長老たちにバプテスマを受  
けたいと言っている。